

# 東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業に係る事業認可の変更等について

## 1 事業認可変更の概要

### (1) 事業認可変更の経緯

平成29年6月に事業認可を取得し工事を進めていたが、想定外の地中障害物の発現や労務・資材単価の上昇などがあったことから、東武鉄道㈱と事業期間や事業費の精査を行うとともに、国や都と協議を積み重ねてきた。この度、変更内容がまとまったので、事業認可変更に向けた申請を行う。

### (2) 事業認可変更の申請内容

#### ア 事業期間の主な延伸要因

- ・近隣への騒音等に配慮した施工方法への変更が生じたため
- ・想定外の地中障害物の撤去や留置線の切替に係る調整に時間を要したため
- ・想定した既設駅部内の施工空間の確保が困難なことが判明し、施工方法に変更が生じたため

▶ 工期短縮に係る工程の変更等を実施したうえで、事業期間を4か年延伸する。

年度	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
当初	鉄道高架化工事（8か年）												
		●着手										●完了	
変更案			仮線工事	上り線高架橋工事	下り線高架橋工事 留置線高架橋工事	既設駅部高架橋工事 留置線高架橋工事				4か年延伸			
		●着手										●完了	
									▲認可変更 ▲変更協定書の締結 ▲踏切除却				

#### イ 事業費の主な増額要因

- ・労務・資材単価の上昇分（約80億円）
- ・既設高架橋の撤去等に伴う騒音対策を考慮した施工方法への変更（約23億円）
- ・地中障害物の撤去及び汚染土の処理対策（約18億円）
- ・既設駅部高架橋における施工方法の変更（約21億円）
- ・土留杭の仕様変更及び軟弱地盤対策（約16億円）

▶ 全体事業費を約179億円、うち都市側負担として約119億円（区負担 約38億円）を増額する。

事業費	当初	変更予定額	増額
事業費	約313億円	約492億円※	約179億円増（約57%増）
うち都市側負担 （区負担分）	約233億円 （約73.5億円）	約352億円 （約111億円）	約119億円増（約52%増） （約38億円、約52%増）

※令和6年度までに上昇した労務・資材単価及び工事変更を反映した金額

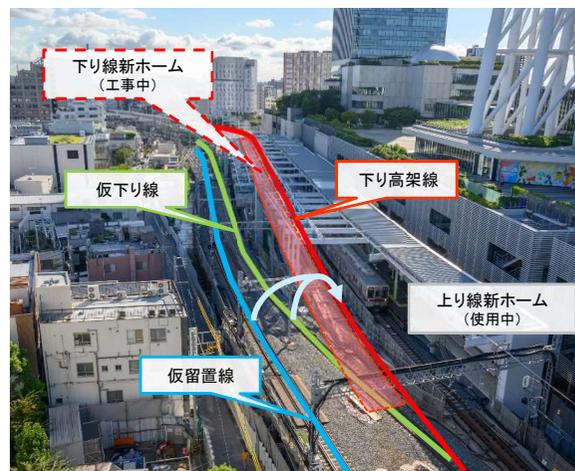
## 2 下り線高架切替に伴う踏切除却の概要

下り線の高架切替に合わせて、以下のとおり踏切除却を実施する。

高架切替工事：令和7年3月1日（土）19時20分頃～翌日早朝（予備日：3月8日（土））

高架切替日：令和7年3月2日（日）初列車から（予備日：3月9日（日））

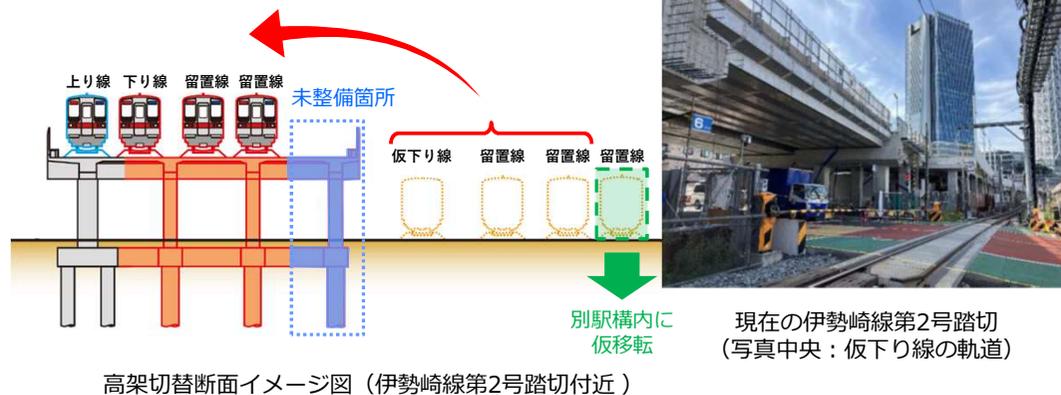
- ・下り線高架切替により、踏切機能は廃止されるが、レールなどの鉄道施設は、工事の資材搬入等で使用するため、令和7年度第1四半期までに撤去する。
- ・駅舎については、浅草方の現在のホームを引き続き使用し、下り線新ホームは令和7年度第2四半期までに使用を開始する。
- ・高架切替の周知については、区ウェブサイト及び東武鉄道ウェブサイトに掲載する。



高架切替イメージ図（新ホーム付近）

【写真凡例】

- 仮下り線（下り線高架切替合わせて使用停止）
- 下り高架線（3月2日（日）初列車から使用開始）
- 仮留置線（下り線高架切替合わせて使用停止）



高架切替断面イメージ図（伊勢崎線第2号踏切付近）



現在の伊勢崎線第2号踏切  
（写真中央：仮下り線の軌道）